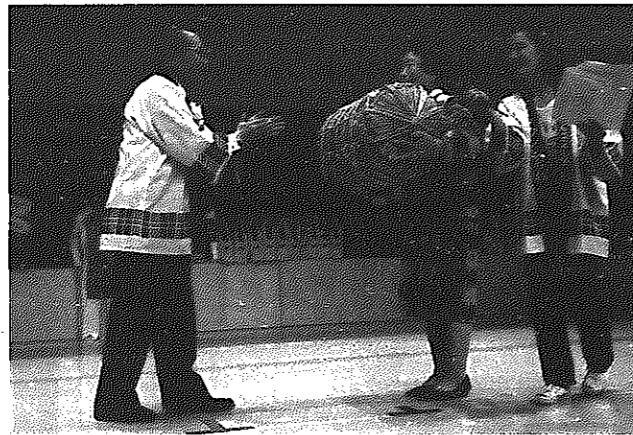


産業まつりキャラクターは 「翔市くん」



▲名付け親の伊藤キミさんにコシヒカリ新米1俵の賞品



見て、買って、参加して みんなで触れ合った 産業まつり

▼祭りのフィナーレ抽選会に詰め掛けた人・人・人…



▼親子連れで人気のせんべい焼き体験コーナー



▼盛りだくさんのイベントにみんなで参加。とにかく楽しかったです。



クイズ「日本一」大会

腕相撲大会

ジャンボゲーム大会

コンピューターゲーム

「育てよう白根市」をテーマに、第三回しろね産業まつりが十月三日、四日カルチャーセンターで行われました。市内の農業、商業、工業を大いにPRしようというこの催し。展示、即売、実演販売のコーナーには、市内四十七の事業所や団体が参加し、自社製品や特産品、農産物をこの日だけの特別価格で奉仕しました。メインとなる四日の日曜日は残念ながら雨となりましたが、それでも約一万人が会場を訪れ、祭りを楽しみました。今回の祭りには「しろねっか！日本一」の旗を持ったキャラクターが初登場。市民の皆さんから名前を募集し、約百通あった応募の中から、伊藤キミさん（戸頭）の「翔市くん」と決定。伊藤さんは「白根市がますます発展し、飛翔するよう名付けました」と、賞品の新米コシヒカリ一俵を手に、に

こにご顔で話していました。「しろねっか！日本一」は「白根を日本一にしよう！」の白根弁。「日本一」を合言葉にしたイベントが盛りだくさんに行われました。特に今回は、来場者との触れ合いを重視。ただ見るだけでなく、みんなで参加して楽しんでもらうというものがずらり。会場内をあちこち駆け回ったクイズ大会、子供たちに大人気だったコンピュータゲーム、腕相撲日本一大会、お楽しみ抽選会などが、次々に繰り広げられ、会場は親子連れなどの歓声がこだましていました。



▲コシヒカリ新米のプレゼントに長蛇の列



▲スタッフはそろいの法被姿で「MY TOWN しろね」をアピール